

～ この秋はキノコを一つ覚えよう ～



「くらべてわかるきのこ 原寸大」山と溪谷社など参考に作成

**子実体** きのこのこと。きのこの本体は菌糸で、繁殖の季節になると子実体をつくり、地上に現れる。胞子を作り、散布する器官。

**胞子** 次世代を作る生殖細胞の一種。有性的に生じるものと無性的に生じるものがある。

**担子(たんし)菌類**

傘の裏にある、ひだや管孔などで胞子をつくる。

**つば**

きのこが若いとき、ひだなどを保護している内被膜の名残。

傘の裏の形は、ひだ、管孔、針、しわひだなどがある。

**担子菌類  
ベニテングタケ**

**子嚢(しのう)菌類**

頭部の表面で胞子をつくる。子嚢という袋の中で成長し、成熟すると袋が破れる。カビや酵母も同じ。

**子のう菌類  
アミガサタケ**

**柄**

傘や頭部を支えている柱状のもの。ふつうは傘の中央にあるが、かたよっていることもある。

**つぼ**

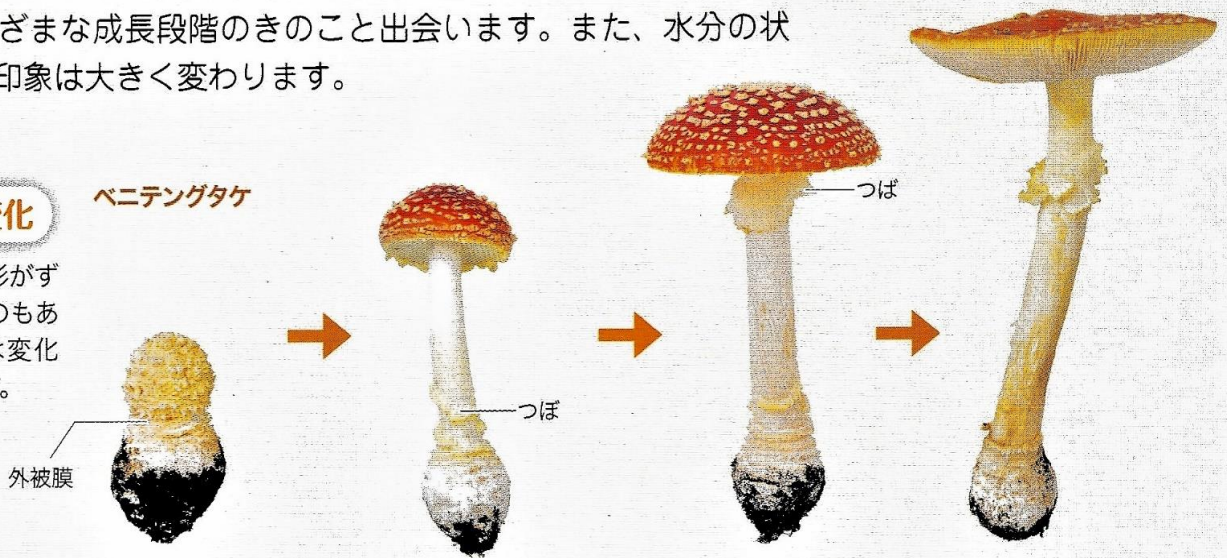
きのこが若いとき、外側をおおっていた外被膜が根元に残ったもの。

# 外見のちがいのいろいろ

図鑑には成長した美しい状態のきのこしか掲載されませんが、フィールドではさまざまな成長段階のきのこに出会います。また、水分の状態によっても印象は大きく変わります。

**成長による変化**

成長の段階で、形がずいぶん変わるものもあります。特に傘は変化の大きい部位です。



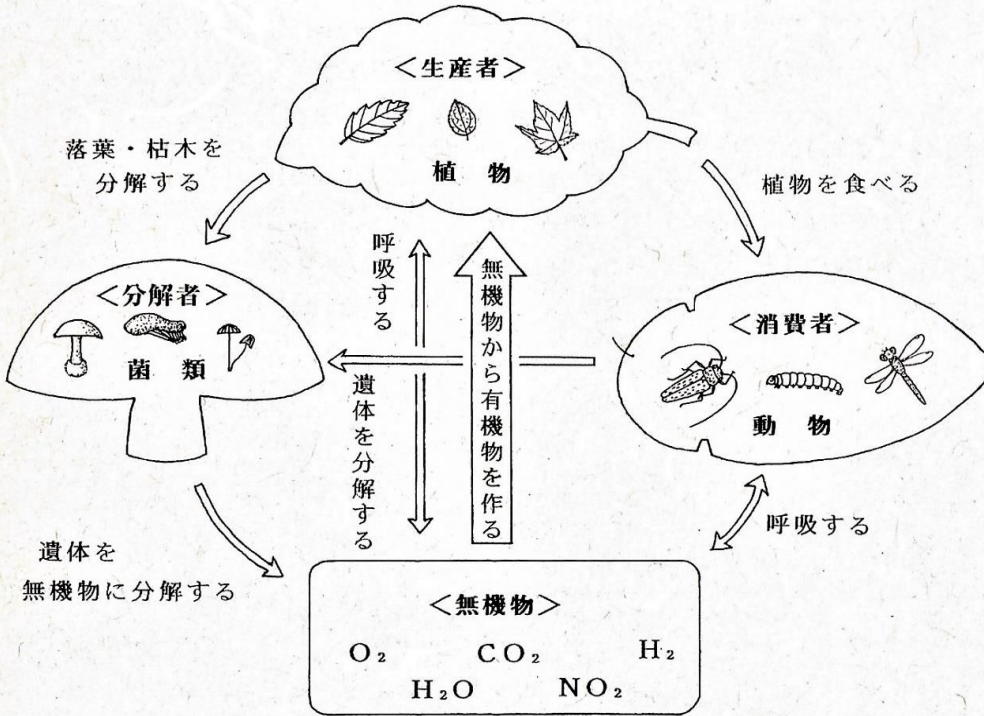
幼菌。全体が外被膜におおわれている

傘に外被膜の破片が残り、根元につぼができた。ひだはまだ内被膜におおわれている

成菌。内被膜がはがれて、つばになっている

老菌。成長の盛りをすぎて、傘が反り返っている

〈食物連鎖の中でのきのこの役割〉



豊田市「矢作川流域森林物語」より

キノコの生活様式いろいろ

☆菌根菌  
樹木と共生関係をつき、樹木の根と菌系がつながって、栄養のやり取りをする菌類。

★腐生菌  
落ち葉や枯れた木材を栄養源にする菌類。  
\*「落ち葉分解菌」(モリカバタケなど)、  
\*倒木や切り株などに生えて木材を分解する「木材腐朽菌」(ツキヨタケ、エノキタケなど)に大きく分かれる。

\*寄生菌  
生きた相手に寄生して、一方的に栄養を搾取する菌類。冬虫夏草が代表的。

キノコ観察のポイント キノコ怖るべし…奥が深い

生え方

- ①どこから? ...生活様式
- ②植生
- ③単性、群生、束生、菌輪

傘の表面

- ①手ざわり
- ②もよう
- ③線 ④いぼ
- ⑤ヒビワレ

傘の裏

- ①ひだ
- ②管孔 ③針
- ④シワひだ

つば(鐙)

柄

つぼ(壺)

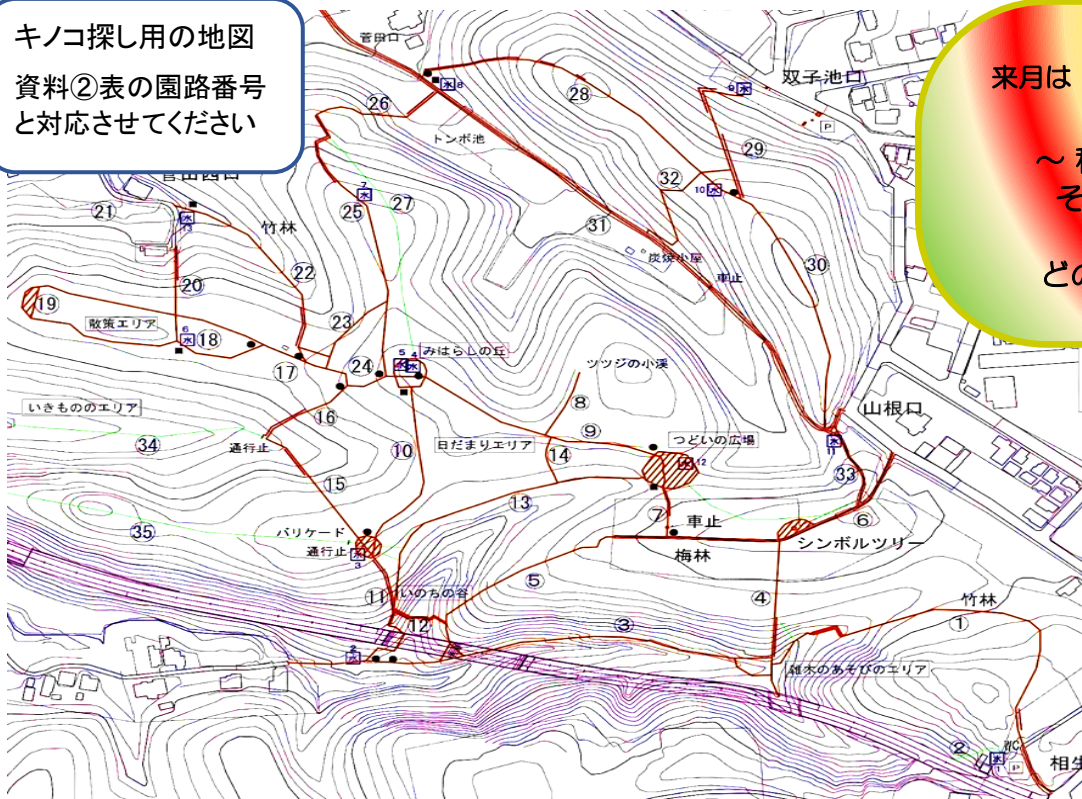
分泌物

変色

味(?)

キノコ探し用の地図

資料②表の園路番号と対応させてください



来月は 11月14日(日)

テーマ

～秋の森 紅葉黄葉  
それぞれさまざま  
お気に入りの色?何の木?～



連絡先(古川)

tell/fax: 052-821-6463

ケイタイ: 080-5124-6463

mail: viva\_forest@yahoo.co.jp

ネット検索: ラブリーアース

https://lovelyearth.info/